

国際村だより

DEWA SHONAI INTERNATIONAL FORUM



出羽庄内国際村音楽祭2019 エリート・レベ・イ・ス・チャランゴン



国際村だより もくじ

- P 2・3：出羽庄内国際村音楽祭2019
- P 4：災害時外国人支援サポーター研修会
外国人防災研修&避難所宿泊体験
- P 5：第9回日本語スピーチコンテストin庄内
中国語特別講座
- P 6：せかいの台所 ベナン・ガイアナ
フレンドシップサロン インドネシア
- P 7：外国語講座3期募集
日本語教室 秋のイベント報告
- P 8：せかいの台所レシピシリーズ～ガイアナ
あとがき
せかいの台所2月募集

随時募集中

- ホストファミリー
- イベントボランティア
- コミュニティ通訳ボランティア
- 財団賛助会員

出羽庄内国際交流財団会報

vol. 79

令和元年12月20日発行



恒例となった「出羽庄内国際村音楽祭」。世界の様々な地域や国の民族音楽を通して国際理解や交流を深めようと、毎年実行委員会で開催しています。今年は8月22日(木)に、キューバンサルサの最高峰オルケスタ「エリート・レベ・イ・ス・チャランゴン」の総勢15名の皆さんをお迎えしました。

例年秋の開催が多かった音楽祭ですが、今年は8月の平日開催となりました。準備期間の短さや平日開催のため集客を心配する声もありましたが、当日は県内外から予想を上回る270名以上の来場者を迎え、プログラム序盤から会場総立ちになるほどの熱気あふれるコンサートになりました。この音楽祭に向けて事前に「サルサワークショップ」を3回行っており、その成果も発揮されたのか、多くの観客がサルサのリズムに合わせ、思い思いに楽しんでいました。



今回は出演団体の全国ツアーの一会場として、鶴岡での公演が実現しましたが、実は世界ツアーの途中でもあり、来日の前にはすでにヨーロッパ各地でのコンサートを終えての来日だったとのこと。磨きのかかった歌声や演奏、踊りに、ホールはまるでキューバにいるかのような熱気に包まれ、暑い夏を吹き飛ばす音楽祭となりました。

実行委員長より 馬場 合さん

25周年という大きな節目を迎えた国際村の音楽祭。今年はカリブ海の島国キューバの陽気な音楽、キューバンサルサを牽引する最高峰オルケスタ、エリート・レベ・イ・ス・チャランゴンを迎えてにぎやかに開催されました。ご来場の皆様はもちろん、支えてくださった実行委員や事務局の皆さんに心から感謝申し上げます。

今回はラテンのにぎやかなリズムを奏でるオルケスタに、県内外のサルサファンの踊るお客様もプラスされ、会場が急にキューバの一角に変わったような雰囲気になりました。言葉はわからなくても、リズムで伝わる楽しさ。ホント音楽は万国共通語なんですね。

音楽祭では毎年、世界の様々な音楽を紹介しています。インターネットでいろいろな音楽が聴ける時代ですが、やはり実際にその場で聴くのが一番！来年も是非体験しに来てください。実行委員も随時募集中です。

出羽庄内国際村音楽祭は、毎年実行委員会を中心に、 様々な方の協力を得ながら実施しています。

広 報

田中 宏
さん



国際村音楽祭で取り上げるのは、県内ではめったに聴けない・観られないジャンルの音楽が多いので、広く発信すれば市外からも関心ある方がご来場下さると確信しています。

県内のテレビやラジオを通したPR活動に力を入れてきた結果、実行委員の皆さんの販売努力とあいまって、大入り満員が続いています。出羽庄内国際村としてのブランド力向上にも繋がっているはず♪

さて、今年の出演者は「エリート・レベ・イ・ス・チャランゴン」でした。舌を噛みそう…すらすら言えるように、みんなで何度も練習してから収録に臨みました。来年はアナタも一緒に音楽祭を盛り上げませんか？

サルサ ワークショップ 工藤 智美 さん



音楽祭に先立ち、全3回のキューバンサルサワークショップを行い毎回10人前後の方が参加してくれました。

キューバンサルサの魅力は、曲が流れると体がリズムを刻まずにいられないくらいのグルーヴ感！ステップを知らなくても十分楽しめるものですが、ダンスを知っていれば楽しさは2倍以上です。

当日少しでもキューバンサルサの醍醐味を味わってもらえたらと思い、一人でも踊れるベーシックステップのバリエーションを何個かとペアダンスで簡単なターンの練習などを行いました。

当日、ワークショップに来てくださった方が楽しそうにサルサを踊っていて、とても嬉しかったです。

キューバ 飲食



音楽祭当日は、耳と同時に口でも“キューバ”を味わっていただこうと、魚亭岡ざきさんに協力していただき、キューバ料理と飲み物の販売コーナーを設置しました。香辛料が効いたキューバのフライドチキン「ポージョ・フリート」、青バナナのフライドチップス「トストーネ」、鶏肉の煮込みの包み揚げ「エンパディーニャ」が販売され、開演前にたくさんの方々からお買い求めいただきました。また、陽気なラテン音楽ということもあり、公演中の会場内での飲食はOK！音楽を聴きながら飲んだり食べたり、音楽に合わせて踊ったりなど、お客様それぞれが、まるでキューバにいるような自由な時間と雰囲気を楽しんでいただけたと思います。「会場内で聴きながら飲めるなんて、最高！」という感想もいただきました。

会場装飾 佐藤 一子 さん



今年の音楽祭は、「キューバの街角で楽しんでいる…」という雰囲気を感じていただきたく、準備いたしました。

パステルカラーの街並みや明るいカリブ海をイメージして、ステージを大きな布で装飾をし、あたたかな人々をイメージして、跳ね上がるような楽しいフォントで今回のタイトルを飾りました。また、入り口では、古い物と新しい物が上手く混在しているキューバの街並みの様子を写真で紹介し、ご来場いただいた皆さまをお出迎えしました。会場全体をステージのように！との予定でしたので、自然に溶け込むような優しい色使いを心がけました。

当日は、心弾む音楽とご参加いただいた皆様の笑顔で作り上げた素敵な空間となりました。



～災害時外国人支援連携体制整備事業実行委員会 主催～

災害時外国人支援サポーター研修会 外国人防災研修&避難所宿泊体験

●支援サポーター研修会

9月8日と9月21日、(特活)多文化共生マネージャー全国協議会理の高橋伸行氏を講師に迎え、災害時外国人支援サポーター研修会を2回行いました。国際村のコミュニティ通訳ボランティア、日本語指導ボランティア、災害時外国人支援に関心のある方など約60人が参加しました。



1回目は基礎編で、災害時に外国人が直面する課題(言葉の壁、制度の壁、こころの壁)を改めて確認したり、ボランティアの役割と多言語支援センターの基本的な活動

について学びました。2回目は実践編として、災害時の多言語支援センターの役割や、行政や国際交流協会との連携の仕方などについても学びました。

外国出身者を支援する場面では、特に言葉の壁は大きな課題の一つです。様々な言語で情報を準備することは難しいため、研修会では多くの人が理解できる「やさしい日本語」や絵などを使ったピクトグラムづくりにも挑戦しました。また、この研修と同時進行で行われた外国人を対象とした避難所宿泊体験にも参加し、外国出身者に困りごとや要望を聞き取る練習も行いました。2回の研修を終え、災害時の外国人支援の重要性や、多言語支援センターの役割などを改めて認識することができました。



【外国人支援サポーター研修会 参加者】

佐藤 麻里さん

(コミュニティ通訳 英語ボランティア)

被災した外国人の気持ちや立場を考えながら、膨大な情報の中から発信すべき情報や避難所でのルールに優先順位をつけたり、それを分かり易い簡単な日本語に直す作業が難しかったです。支援をする際は、教わった「想像」と「創造」を忘れないようにしたいです。

●防災研修&避難所宿泊体験

支援サポーター研修会と同時に開催した「防災研修&避難所宿泊体験」には、約30名の外国出身者が参加しました。最初に、防災学習館で火災時の消火器の使い方や、煙を吸い込まないで逃げること、地震時には頭を守る、火元を消すなどの基本的な防災方法を体験学習しました。



次に国際村へ会場を移し、模擬避難所の入所体験。避難時には受付でどのようなことを記入するのか、食事の配給やごみの分別はどうなっているかなど、実践してみるとどのような情報や配慮、言語サポートが必要なのか、支援する側とされる側の両サイドから考えることができました。特に、今回の宿泊体験では非常食を食べたり、寝袋で一晩過ごしたりしましたが、宗教を考慮した場合、食事やお祈りの場所の確保、夜中のお祈りのための移動



など、様々な課題が見つかりました。いつ起きるかわからない災害に備え、多文化共生を意識したこのような防災訓練は、今後も継続していきたいです。



【防災研修&避難所宿泊体験 参加者】

ソフィア・ラティフさん
(イギリス出身)

防災学習館の訪問では、地震や家での火災を想定した避難方法などのシミュレーションを通して、災害の様々な面について学ぶことができました。また宿泊所体験では段ボール箱のベッド、筒とシーツを使ったパーティションなども作りました。大変簡単で軽量、費用対効果はとても高いです！私は友達と参加しとても楽しく過ごしましたが、同時にこの経験が実際の災害への備えとなることを実感しました。実際の状況予測ができ、今はとても安心しています。

11/10
SUN

第9回 日本語スピーチコンテスト in 庄内

11月10日(日)、遊佐町生涯学習センターで「第9回日本語スピーチコンテストin庄内」が開催され、約100名の来場者の中、5名のベトナム出身者と1名の中国出身者、合わせて6名が、緊張した面持ちで日本語でのスピーチに挑戦しました。出羽庄内国際村の日本語教室からは、ベトナム出身のグエン・スアン・クインさん、チャン・クアン・チーさん、レ・ユイ・クオンさんの3名が参加。審査の結果、大賞は、子どもが始めた卓球を通して日本の社会について感じたことを語った阿部愛子さん、優秀賞は、庄内での暮らしと周りの方への感謝を語ったクオンさんと、自分で見つけた夢を語ったタンさんが選ばれました。

今回は、出場者のほとんどが原稿を見ずに発表するほど熱のこもったハイレベルな大会で、皆さんの努力の成果が見られました。

来年の会場は三川町の予定です。第10回の記念の大会では、どのようなスピーチが聞けるのでしょうか。



大賞
阿部愛子さん
『卓球から見た日本の社会システム』
(中国出身)



優秀賞
レ・ユイ・クオンさん
『私にとっての日本』
(ベトナム出身)



優秀賞
グエン・ドック・タンさん
『夢のために生きています』
(ベトナム出身)



皆さんお疲れ様でした！



各出場者のスピーチ内容は庄内日報に掲載される予定です。
聞き逃した方はぜひそちらをご覧ください。

10/14
MON中国語特別講座
楽しく話そう中国語！

この特別講座は、普段学習している言語を使った実践的な会話力を鍛えるため毎年行っており、今回の中国語講座は3年振りの開催となりました(去年は韓国語で実施)。4名の中国、台湾出身の先生方にご協力いただき、「楽しい食べ歩き」「スポーツを知ろう」「中国の交通事情」「今どきの中国語」の4つのブースに分かれ、オリンピックのどの種目に興味があるか、店内で飲食するか持ち帰るかなど、各ブースで会話を楽

しみながら中国語を学びました。他にも“喜欢”や“开心”を使って「私は〇〇が好きです」、「〇〇が楽しいです」などの文章を、中国語で一人ずつ作って発表したりしました。

参加者からは「とにかく話すことが重要だと思った」などの感想をいただきました。教科書を使った勉強だけではなく、今後もこのような会話に重点をおいた講座を開講していく予定です。



国際村の料理教室「せかいの台所」

8/24
SAT

西アフリカ ベナン料理



偶数月に開催される「せかいの台所」。8月はベナン料理でした。ベナン共和国出身のマリエッタ・ゴンルドブさんを講師にお迎え、マフェ（ピーナッツバター濃厚シチュー）、ビーフ・ソヤ（西

アフリカの牛肉串焼き）、サンドレパー・サラダ（たっぷり野菜の砂肝サラダ）の3品を教えてくださいました。

マフェはカットトマトやキャベツなどの野菜がたっぷり入ったヘルシーなシチューで、チリパウダー、にんにく、こしょう、ピーナッツバターで風味付けし、多少の辛さの中にもまろやかさがある優しい味でした。スパイシーな味のビーフ・ソヤはとても柔らかく、砂肝サラダとの組み合わせも抜群でした。



10/20
SUN

南アメリカ ガイアナ料理



10月はガイアナ共和国出身のディノ・シンさんを講師としてお迎えし、ブンジャール・チキンカレー（ガイアナのチキンカレー）、ポテト・ロティ（ジャガイモ入りパン）、エッグボール（ジャガイモを巻いて揚げた卵ボール）を教えてくださいました。

カレーは玉ネギと鶏肉がたっぷり入ったシンプルでやや辛めのカレー。茹でたジャガイモを挟んだ薄いパンとの相性がぴったりで、おいしいと好評でした。エッグボールはキュウリとにんにくの爽やかなソースが抜群の1品でした。

ディノさんにはご家族でお出でいただき、奥様も一緒に料理を教えてくださいました。ガイアナの文化にもふれながら、おいしく楽しい時間を過ごしました。



ホームページより、《せかいの台所レシピ集》をご活用ください。

今回のベナン料理とガイアナ料理(P8に一部掲載)のレシピはもちろん、今まで実施してきた各国の料理のレシピを紹介しています。

国際理解講座 フレンドシップサロン②

A LITTLE PIECE OF INDONESIA Amazing Islands

多様なインドネシアの一面
～素晴らしい島々～

フレンドシップサロンは、外国出身の方や海外で様々な分野で活躍されている方々のお話を聞く会です。今年度第2回目のサロンは、11月9日(土)に開催され、山形大学農学部の留学生、ウルヤ・ヌル・ロザナさんとアルヴィアン・ヌル・ヒダヤットさんから、お二人の出身国であるインドネシアについてお話いただきました。

17,000を超える島々、714にもなる多数の民族や、それぞれの異なる言語、宗教など、多様な文化が融合しているインドネシアの魅力を、画像などを使って紹介いただきました。リゾート地として知られるバリ島をはじめ、コモドドラゴンで有名なコモド島など、自然豊かな島々の動画も映し出され、あらためてインドネシアの多様性を知ることができました。



今回のフレンドシップサロンは、アイルランドについてのお話を予定しています。詳細は後日、ホームページやFacebookなどでお知らせいたします。ぜひ一度フレンドシップサロンへお話を聞きに来てください。



バティック(ろうけつ染め)のシャツで会場に来てくださったアルヴィアンさんとウルヤさん



外国語講座のご案内

～国際村賛助会員の方は
各種講座の受講料が1割引～

第3期 1月～3月

- 各講座 受講者3名より開講です。(子どものための中国語講座は5名以上)
- 入門コースは、4月から1年をかけて学んでいますので第3期はゼロからのスタートではありません。
- テキスト代が別途かかる場合があります。
- 事務局では見学(1回無料・要連絡)をおすすめしています。

●受講を決められた方は、お早目に事務局で申込み手続きと受講料の納入をお願い致します。

講 座 / コー ス 名	期 間		曜 日	講 師
	受 講 料	回 数		
英 語	初心者英会話	1/23～3/19	木	コルトン ウェッツェル先生 (アメリカ出身)
	11,700円	9		
	レベルアップ中級英語	1/16～3/12	木	ポッター グラント先生 (アメリカ出身)
11,700円	9			
中 国 語	入 門	1/9～3/12	木	ウェイ ベンホン 魏 本紅先生 (中国出身)
	13,000円	10		
	初 級	1/10～3/13	金	ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生 (中国出身)
	13,000円	10		
	中 級	1/11～3/14	土	ヤン ヨンリ 楊 詠麗先生 (中国出身)
	13,000円	10		
子どものための中国語	1/12～3/15	日	ソン ズェンホン 孫 志紅先生 (中国出身)	
5,000円	10			
韓 国 語	入 門	1/21～3/24	火	イ ヒョンヒ 李 賢熙先生 (韓国出身)
	11,700円	9		
	初 級	1/17～3/20	金	チェ ミョンジャ 蔡 明子先生 (韓国出身)
13,000円	10			
ドイ ツ 語	始めようドイツ語 入 門	1/21～3/24	火	アレクサンデル プラント先生 (ドイツ出身)
	10,400円	8		

フリートーク 申込不要

お茶を飲みながら気軽に外国語でネイティブの先生と会話をしてみたい方々に大好評の講座です。



- 全コース共通回数券 / 5回券2,500円、10回券4,500円
ちょっとお試し1回500円で参加できます。

●毎月の日程は国際村ホームページ、Facebookに掲載しています。

講座 / コース名	講 師	曜日	回数	時間
英 語	かんばせーしょん 喫茶店	カリッサ トラバース先生 (カナダ出身)	木 毎週	19:00～20:00
		サムエル キマニ先生 (ケニア出身)	土 毎週	11:30～12:30
中 国 語	朋友你好!	ヤン 楊 詠麗先生 (中国出身)	木 毎週	19:00～20:00
		ワン 王 雅萍先生 (台湾出身)	土 第1・3	15:30～16:30
		ジャオ 趙 萍先生 (中国出身)	土 第2・4	
韓 国 語	韓国との出会い	ハン 韓 文仙先生 (韓国出身)	土 月3回	14:00～15:00
スペイン語	アブレモス エスパニョール	フロレンシオ サンチェス先生 (ボリビア出身)	土 毎週	14:00～15:00
フランス語	ル・サロン	マリエッタ ゴンルドブ先生 (ベナン出身)	木 毎週	19:00～20:00

国際村日本語教室 秋のイベント

国際村日本語教室は日々の日本語学習以外にも季節の行事をしたり、地域のイベントに参加したりと、みんなで楽しく教室を作っています。今回は秋に行った行事を紹介します。

9/22 (日) ぶどう狩り&いも煮会

ぶどう狩り&いも煮会は国際村日本語教室の恒例行事で、今年は9月22日(日)に行なわれました。60人近くの日本語教室の学習者、日本語指導ボランティアとその家族が参加しました。ぶどう園にある色々な種類のぶどうを思う存分摘み取って食べました。お昼はおにぎりや日本語教室の先生たち手作りのいも煮を食べ、庄内の秋を満喫しました。



参加した皆さんは、日本文化を体験しながら、先生やほかの学習者との交流ができ、実践的な日本語の勉強もできました。

10/27 (日) 器の会 ～秋編～

日本の家庭料理を学ぼう

年に2回行っている日本の家庭料理を学ぶ講座「器の会」の秋編が10月27日行われました。今回は肉うどん、野菜天ぷら、白玉だんご、季節のくだもの盛り合せの4品。インドネシア、韓国、アメリカ、ハンガリー出身の6名が参加しました。二人の先生



からは、料理の作り方だけでなく、日本の習慣や文化、日本人のマナーも教えていただきました。

せかいの台所 レシピシリーズ



ガイアナ料理

講師 ディノ シンさん

(ガイアナ共和国出身)



10月に開催した「せかいの台所～ガイアナ料理～」より、ゆで卵をジャガイモで巻いて揚げた料理エッグ・ボールを紹介します。



Egg Ball (エッグ・ボール) 【材料 4人分】

- | | |
|-----------|----------|
| ○ゆで卵…4個 | ○小麦粉…適量 |
| ○ジャガイモ…2個 | ○卵…適量 |
| ○キュウリ…1本 | ○塩…少々 |
| ○ニンニク…1片 | ○コショウ…少々 |
| ○青ネギ…適量 | ○サラダ油…適量 |

- ※ペースト
○ニンニク…3片
○セロリ…1本
○ネギ…1本

作り方

- ①卵はゆでて冷めたら殻をむく。むいたら表面の水気を取る。



- ②ニンニク、ネギ、セロリを刻みフードプロセッサーにかける。コショウを混ぜてペーストを作る。



- ③ジャガイモを皮ごとゆでたら、皮をむいてつぶす。塩、コショウ、クミンパウダー、みじん切りにした青ネギ、②のペーストを加えてよく混ぜる。団子状に丸める。



- ④③のジャガイモを平らに伸ばし、ゆで卵を包んでボールを作る。



- ⑤ボウルに溶いた卵と小麦粉を入れて混ぜ、揚げ生地を作る。ジャガイモエッグボールを揚げ生地に付け、熱した油で黄金色になるまで揚げる。ペーパータオルに上げて油をきる。



- ⑥キュウリとニンニクをミキサーにかけ、塩、コショウを混ぜてソースを作る。



あとがき

今年の秋は台風の影響による記録的な大雨により、全国各地で甚大な被害が発生しました。被災地では、今なお避難所生活をされている方々も多数おられます。被害にあわれた方々に心からお見舞い申し上げます。

さて、9月に災害時における外国人住民支援を円滑に行えることを目的に、災害時外国人支援サポーター養成講座（避難所宿泊訓練）を初めて実施しました。外国人の方々に必要な情報の伝達、被災者ニーズの把握について、「ことばの壁」「こころの壁」を乗り越えて正確な情報を伝えることの難しさを体験することができました。特に、地震はいつ起きるかわかりません。日頃からの備えが大事な事を痛感しました。

これから厳しい寒さの冬が待っています。雪による災害が起こらないように祈念し、体調管理に気をつけて暖かい春を待ちたいと思います。

2月のせかいの台所

フィリピン料理 参加者募集!

国際村の料理教室「せかいの台所」は、今年度残り1回となりました。締めくくりは、フィリピン料理で、講師はフィリピン出身のリンディ オルティズさんです。

メニューは現在検討中です。詳細が決まり次第、ホームページ、Facebook等で情報をお知らせいたします。



- 日 時：2月22日(土) 10:00～13:00頃
場 所：出羽庄内国際村 2階 調理実習室
参加費：1,500円（賛助会員は1割引き）
持ち物：エプロン
申込み：2月5日(水) 9時より電話で受付します。